

教 科	芸術	科	科目	美術Ⅰ	学年	第 1 学年	系列 コース	共通
単位数	2	単位	教科書	美術1(38光村 美Ⅰ－701)				
副教材	なし							

1. 学習の到達目標

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、造形的に表すことができるようにする。
(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し造形的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3) 主体的に美術の幅広い造形活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2. 評価の観点

①知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 造形的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。
②思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
③主体的に学習に取り組む態度	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

3.学習の計画

学期	月	週No.	学習項目(単元)	学習内容
1 学 期	4月	1	1 身近なものを描く	身近なものを描くことに興味をもち、身近なものを見つめ感じ取った特徴や、ものに対する自分の思いなどから主題を生成する。 主題をもとに、形や色、用具の使い方などの構想を練る。 構図や色などを工夫し、用具の特性を生かして制作する。 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。 心惹かれる風景をあらわすことに興味をもち、風景から感じ取ったことや、自分の思いなどから主題を生成する。 主題をもとに、形や色、構図などの構想を練る。 光や陰影、奥行き表現などを工夫して制作する。 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。 メッセージを広く伝えるデザインに関心をもち、メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成する。 主題をもとに、作品形態や表現方法、配色や構成などの構想を練る。 形や色、構成などを工夫して制作する。 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。
		2	(1) 鉛筆デッサンで身近なものを表現しよう	
		3	・鉛筆の使い方	
		4		
	5月	5	(2) アクリル絵の具で描く	
		6	・絵の具の特性	
		7	・身近な風景を表現しよう	
		8		
		9		
	6月	10		
		11	2 メッセージを広く伝える	
		12	(1) 色の特徴を知ろう	
	7月	13	・色の性質、色の効果	
		14	・配色のヒント	
		15	(2) 人権ポスターを描こう	
		16		
2 学 期	8月	17		「四天王立像」を鑑賞し、作品に込められた思いや願いを感じ取る。 感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方や感じ方を深める。 生命感をあらわした作品に関心をもち、身近な人や動物などから感じ取った生命感から主題を生成する。 主題をもとに、材料やポーズ、構図などの構想を練る。 材料や用具の特性を生かして制作する。 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。 ルーブル美術館の代表作品を鑑賞し、その歴史と美しさを感じ取る。 人物を撮影することに関心をもち、身近な人の表情や動き、その人との関係性などから主題を生成する。 主題をもとに、支店や構図、光、ポーズなどの構想を練る。 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。
		18		
	9月	19	3 鑑賞（仏像の美）	
		20	4 生命感をあらわす	
		21	(1) 塑造と彫造を知ろう	
		22	(2) そっくりにつくる	
	10月	23		
		24		
		25		
		26		
		27		
	11月	28		
		29	5 鑑賞（西洋美術）	
		30		
	12月	31	6 人物を撮影する	
		32	(1) 撮影方法を知ろう	
		33	・撮影のしかた	
		34	(2) 友達を撮影しよう	
3 学 期	1月	35	7 想像した世界を描く	想像した世界をあらわすことに興味をもち、現実にはない不思議なことを想像することから主題を生成する。 主題をもとに、形や色、構図などの構想を練る。 あらわしたいイメージをもとに、材料や表現方法を工夫して制作する。 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。 「伊藤若冲」を鑑賞し、若冲の表現の豊かさを感じ取る。 感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作家や作品の見方や感じ方を深める。
		36	(1) 発想の広げ方	
		37	・マッピング	
		38	(2) 自由なテーマで表現しよう	
	2月	39		
		40		
		41		
		42		
	3月	43	8 鑑賞（日本美術）	
		44		
		45	9 鑑賞（1年間の振り返り）	

4. 評価の方法

完成した作品の得点に加えて、授業態度、課題学習等日々の学習活動において、各評価の観点（①知識・技能②思考・判断・表現③主体的に学習に取り組む態度）ごとに評価する。学年末の成績は、各学期の成績をもとに算出する。